

田端の文学史

～冒険小説、怪談、翻訳～

文士が紡いだ物語～



二葉亭四迷

明治以降、日本では翻訳や冒険小説など様々なジャンルの文学が生まれました。

田端に集った芥川龍之介、二葉亭四迷、押川春浪らも個性豊かな作品を世に送り出しています。

近代文学が興隆する中、彼らがどのような作品を書いたのか、10月から開催する展覧会の内容を交えながらお話しします。

※天候により、講義のみになることがあります。

令和8年

11/15



13:00 開演
(12:30 開場)

田端文士村記念館 〈多目的ホール〉

(JR 山手線・京浜東北線「田端駅」北口徒歩 2 分)

【ご案内】当館研究員

※ 1 時間ほど館内で講義をした後、
1 時間ほどゆかりの地などを散歩します。

【定員】80 名 (抽選・全席自由)

【申込】往復はがき、または

申込フォームで **10/26(月)** 必着

※応募は1件につき2名まで可。(申込時には全員分の氏名を記入)

※重複応募不可。

※駐車・駐輪場は隣接の有料施設をご利用下さい。

往復はがき記入例

申し込む方の 住所・氏名	11月
	ひととき散歩 郵便番号・住所 氏名 (ふりがな) 電話番号 年齢

表 (返信)

裏 (往信)



申込フォーム

主催・宛先
問合せ

〒114-8523 東京都北区田端 6-1-2

(公財) 北区文化振興財団 田端文士村記念館

<https://kitabunka.or.jp/tabata/>

☎ 03-5685-5171

✉ @bunshimura